



アドビ システムズ 株式会社  
141-0032 品川区大崎 1-11-2  
ゲートシティ大崎イーストタワー 19F

## アドビ、「Adobe Photoshop」が25周年を迎えたことを発表

カルチャーの象徴となり、世界の見方を変えた Photoshop

※当資料は、2015年2月19日に弊社米国本社から発表されたプレスリリースの抄訳です。

【2015年2月19日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発（2015年2月19日） Adobe（Nasdaq: ADBE、本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ）は、本日、デジタル世代におけるクリエイティビティを再定義し続けてきた画像編集ソフトウェアである「Adobe Photoshop」が25周年を迎えたことを発表しました。「Adobe Photoshop」は、人々の日常を取り巻くあらゆる感動的な画像で使われています。例えば、今朝飲んだコーヒーカップの印象的なロゴマーク、新たにiPhoneにダウンロードしたアプリ、ランニングシューズの洗練されたデザイン、今夜鑑賞するハリウッド映画の大作などで使われています。Photoshopは今後も各リリースごとに画期的な新機能や、iPhone、iPad、Android搭載端末にPhotoshopが持つパワーを拡張していく新たなモバイルアプリを提供し、画像編集の世界における先駆者であり続けます。

アドビの社長 兼 CEO ショantanu ナラヤン（Shantanu Narayen）は、「過去25年間にわたりPhotoshopは、息を呑むような美しさで現実を超越したクリエイティビティを兼ね備えた画像を、アーティストやデザイナーが作り出せるように刺激を与え続けてきました。DTPから、ファッション写真、映画制作、ウェブサイトデザイン、モバイルアプリ作成、そして3Dプリントにいたるまで、Photoshopはさまざまな業界と、クリエイティブの世界における可能性を再定義し続けています。今日、こうしたPhotoshopマジックは、「Adobe Creative Cloud」によって、数百万人の新たなユーザーの手に届いています」と述べています。

Photoshopは世界で最も有名なソフトウェアブランドのひとつで、そのユーザー数は数千万人にのぼります。Photoshopは印刷、映画、ウェブにいたるあらゆるメディア向けにデジタル画像を加工するために不可欠なアプリケーションとなっています。Photoshopが提供するレイヤー、修復ブラシ、コンテンツに応じた塗り、Camera Rawなどの機能は、クリエイターが最高の作品を作り上げるための手段を提供してきました。プロ、アマを問わず写真を撮る方にとって必須のツールであるAdobe Lightroomも、Photoshopのテクノロジーに基づく製品です。PhotoshopとLightroomのモバイルアプリは、今日のビジュアルアーティストのニーズに対応し、デスクトップPCとタブレットやスマートフォンの間で自由に画像を加工する環境を提供しています。

Photoshopの市場における成功を原動力として、Adobeはクリエイティブ業界に最も幅広い製品とサービスを提供できるようになりました。Photoshopと同様、Adobe Illustrator、InDesign、Premiere Pro、After Effects、Dreamweaverなどのアプリケーションも、どの

ようなメディアでも、クリエイティビティを推進する役割を果たしてきました。そして今日、BehanceやCreative Talent SearchといったAdobe Creative Cloudサービスが、次世代のクリエイターによる作品を世界中の顧客や市場に紹介する場を提供しています。

Photoshopが受けた高い評価の背景には、絶え間なく進化し続ける機能と、画像科学への深い造詣があります。PhotoshopとLightroomのデスクトップ版とモバイルアプリは、Adobe Creative Cloudを構成する要素として常にアップデートされるため、これまで以上に素早くユーザーの皆様へ革新的な新機能をお届けします。

アドビでは、Photoshop 25周年を記念して、25歳以下でPhotoshopを使っている最もクリエイティブなビジュアルアーティスト25人を紹介するプロジェクトを実施します。選考に応募するには、ご自身の作品（プロジェクト）を[Behance](#)に、「Ps25Under25」のタグをつけてアップロードしてください。今後数ヶ月で選定されたアーティストは、[PhotoshopのInstagramハンドル \(@Photoshop\)](#) を2週間使う権利が与えられ、自身の作品を世界に向けて公開することができます。最初のアーティストは米国カリフォルニア州ベンチュラをベースとするイラストレーターのフレディ サンチャゴ (Fredy Santiago) 氏で、氏の作品は本日から公開されます。

アドビでは並行して、この25年間でPhotoshopを使って産み出された素晴らしい作品の数々をたたえる広告キャンペーン「Dream On」をアカデミー賞授賞式で展開します。このTVCMには数々のPhotoshopアーティストの手による素晴らしい作品と、Photoshopが使われた名画（アバター、ゴーン・ガール、ヒックとドラゴン2、シュレック）の印象的なシーンで構成されています。このスポットは[こちら](#)からご覧になれます。

#### Photoshopが始まった経緯

1987年、トーマス ノール (Thomas Knoll) はピクセル イメージングのプログラムを開発し、「Display」と名付けました。これは白黒モニターでグレイスケール画像を表示するシンプルなプログラムでした。しかし、彼の弟であるジョン ノール (John Knoll) が開発に参加してから、2人はこのプログラムにデジタル画像ファイルを加工する機能の追加を始めました。このプログラムは次第に業界のインフルエンサーの関心を集めるようになり、1989年、アドビはそのライセンスを取得することを決め、Photoshopと名付けて1990年に最初のバージョンを発売しました。

アドビ フェローでPhotoshopの共同クリエイター生みの親のひとりであるトーマス ノールは、「アドビは私たちが月に500本ものPhotoshopを月に500本程度を売るだろうと考えていたようです。その後、こんなにも多くのクリエイティブの人々がこの製品を受け入れてくれて、こんなにも多彩な使い方をしてくれるとは夢にも思いませんでした。Photoshopユーザーの方々が創り出す美しい画像、Photoshopによって生み出されるさまざまなキャリア、そして世界中のユーザーが日々発見しているPhotoshopの新たな使い方に、とても刺激を受けています。」と述べています。

関連リンク (日本語)

[Photoshop 日本公式ブログ](#)

関連リンク (英語)

[25周年ブログ](#)

[トーマス ノールとのQ&A](#)

[Photoshop Facebook](#)

[Photoshop Twitter](#)

[Photoshop Instagram](#)

[Photoshop Google+](#)

[Photoshop YouTube](#)

[Adobe Photoshop公式ビデオ](#)

アドビ システムズ社について

アドビは、世界を動かすデジタル体験を提供します。

アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、[Webサイト](#)に掲載されています。

© 2015 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Adobe, the Adobe logo, Photoshop, Creative Cloud, Lightroom, Illustrator, InDesign, Premiere Pro, After Effects, Dreamweaver and Behance are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.